

1. レイヤー構成について

1. 枠線

クリアケースのラインになります。切れて困るデザインは必ずこのライン内に収めてください。



2. デザイン

このレイヤーにデザインをしてください。

3. 白引き

このレイヤーに白引きをしてください。

2. クリアケースの印刷について

クリアケースは「デザイン」と「白引き」が必要になります。

★白引きとは

クリアケースの場合、イラストを普通に印刷すると下が透け半透明の状態になります。完全に透けない状態にするためには、一度白色の下地を印刷し、その上から見せたいイラストを印刷する必要があります。そのため、印刷したいイラストを黒1色 (K:100) にした「白引きデータ」が必要になります。



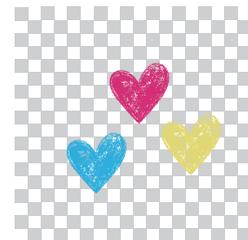
「デザインデータ」と「白引き」を重ねると…半透明にならず、透けない状態で印刷ができます。
 (「白引き」は実際は白色で印刷されます)

データを用意する際は以下ようになります。

★完成予想図

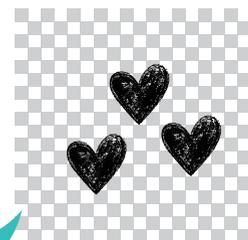


★デザインデータ



①デザインを用意してください。
 ※クリアにしたい部分は「透明」にしてください。

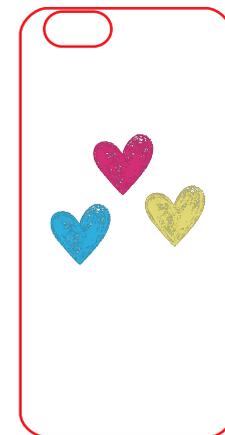
★白引き



②デザインデータを黒一色 (K:100%) にしたものを用意してください。
 ※クリアにしたい部分は「透明」にしてください。

☆Photoshop を使用して、デザインデータを黒一色にする簡単な方法
 デザインデータに「レイヤースタイル」の「カラーオーバーレイ」を使用すると簡単に色を変更することができます。

★ai テンプレート



③上記2つを重ねて配置してください。
 ※「デザインデータ」と「白引き」は別のレイヤーになっているかご確認ください

3. デザインに関する注意点

☑ クリア（透明）にしたい部分は必ず「透明」にしてください

クリア（透明）にしたい部分は必ず「透明」にしてください（白い背景などがない状態）。背景の白などが残っていると、白い色として印刷されてしまいます。

☑ 「白引き」を必ず敷いてください

「白引き」（デザインデータを黒一色にしたもの）がないとデザインが半透明になり透けてしまいます。不透明にしたい場合は必ず「白引き」を敷いてください。

☑ 画像を貼りつける際は解像度にご注意ください

用意した画像を貼りつける際は、なるべく解像度の高いもの（解像度：360dpi 推奨）を使用して下さい。解像度の低いものを使用すると鮮明に印刷されないことがあります。

☑ 画像を貼りつけた際は「埋め込み」を行ってください

画像を貼りつけた際は、必ず「埋め込み」を行ってください。「リンク」のまま（埋め込みがされていない）だと画像が正しく表示されないことがあります。

☑ カラーモードはCMYKから変更しないでください

カラーモードは必ずCMYKで作成し、RGBなどに変更をしないでください。CMYK以外ですと綺麗に印刷がされない可能性があります。

☑ 文字のアウトライン化（オブジェクト化）をしてください

文字のアウトライン化がされていないと、正しく文字が表示されない可能性があります。必ずアウトライン化（オブジェクト化）を行ってください。

4. 印刷に関する注意点

- ・側面の印刷についてはケースの形状により、濃度が薄くなったり、絵柄の歪みが発生する事があります。
- ・製作工程上、インクの周り込みによりケースの内側（裏側）に微量のインクが付着する事があります。
- ・当社の印刷条件に合ったデータをご入稿いただき、当社では手を加えず、ご入稿頂いたデータにて製作致します。色合わせ等データの修正が必要な場合は別途ご相談させていただきます。
- ・当社の専用ケースでの製作となります。また、ケースメーカーの都合により、予告なくケースの形状及び色味が変わる事があります。また、状況により取扱い機種を廃盤とさせて頂く事があります。その際は事前にご連絡させていただきます。
- ・埃等の混入により、微少のピンホール・黒点等が発生する事があります。
- ・1～2mmの印刷位置のズレが発生する事があります。

5. 保存方法

1. 「白引き」の用意、画像の「埋め込み」、文字の「アウトライン化」がされているかを確認。
2. ai データのまま保存。
3. 元々のデータ名の後に「-（ハイフン）デザイン名」を加えてください。

6. 入稿について

下記1点をフォルダに格納の上、ご入稿ください。

- ① デザインした ai
こちらが印刷画像になります。

✓ 入稿前のチェックリスト

- クリア（透明）にしたい部分は「透明」になっていますか
クリア（透明）にしたい部分は必ず「透明」にしてください（白い背景などがない状態）。背景の白などが残っていると、白い色として印刷されてしまいます。
- 「白引き」は敷いてありますか
「白引き」（デザインデータを黒一色にしたもの）がないとデザインが半透明になり透けてしまいます。不透明にしたい場合は必ず「白引き」を敷いてください。
- 文字のアウトライン化（オブジェクト化）はされていますか
文字のアウトライン化（オブジェクト化）がされていないと、正しく文字が表示されない可能性があります。必ずアウトライン化を行ってください。
- 画像の「埋め込み」はされていますか
画像を貼りつけた際は、必ず「埋め込み」を行ってください。「リンク」のまま（埋め込みがされていない）だと画像が正しく表示されないことがあります。
- カラーモードは CMYK になっていますか
CMYK 以外だと印刷した際色味が変わってしまう可能性があります。必ずカラーモードは CMYK のまま保存してください。
- ファイル名は全て半角英数字になっていますか
ファイル名にはひらがな・カタカナや全角数字は使用せず、必ず半角英数字を使用してください。また、_（アンダーバー）とスペースも除いて下さい。
名前は元々のデータ名の後に「-（ハイフン）デザイン名」を加えてください。

例）「1234」というデザインの iPhone6 の場合
→clear-iPhone6-1234.ai（clear-機種-デザイン名 になります）
- 入稿データはそろっていますか
下記 1 点をフォルダに格納の上、ご入稿ください。
① デザインした ai